



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベネッセホールディングス

コード番号 9783 URL <https://www.benesse-hd.co.jp/ja/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安達 保

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 増本 勝彦 (TEL) 042-357-3656

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	336,562	3.9	23,093	48.7	20,026	58.4	13,181	100.3
2019年3月期第3四半期	324,007	△0.9	15,527	△9.5	12,643	△17.0	6,582	△66.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 13,192百万円(96.1%) 2019年3月期第3四半期 6,726百万円(△65.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	136.82	136.82
2019年3月期第3四半期	68.34	68.31

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	493,370	182,952	35.9
2019年3月期	504,682	175,099	33.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 177,080百万円 2019年3月期 169,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	459,000	4.5	20,000	23.1	16,000	31.7	9,500	93.8	98.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	102,513,199株	2019年3月期	102,483,603株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	6,157,678株	2019年3月期	6,156,644株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	96,342,610株	2019年3月期3Q	96,318,426株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	P. 12
(連結損益計算書関係)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 13
(重要な後発事象)	P. 14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①業績全般に関する分析

当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、前年同期比増収増益となりました。

売上高は、3,365億6千2百万円と、前年同期比3.9%の増収となりました。

増収の主な要因は、ベルリッツ事業において減収となったものの、国内教育事業において、「進研ゼミ」の価格改定等による増収に加え、2019年1月8日付で連結子会社としたClassi（クラッシー）(株)、(株)EDUCOM（エデュコム）の売上高を当期は第1四半期連結会計期間の期首から計上したこと等による増収があったこと、及び介護・保育事業において、高齢者向けホーム及び住宅数を拡大し入居者数が増加したこと等による増収があったことです。

営業利益は、国内教育事業における増収による増益、及びベルリッツ事業のコスト削減等により、230億9千3百万円と、前年同期比48.7%の増益となりました。

経常利益は200億2千6百万円と、前年同期比58.4%の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、131億8千1百万円と、前年同期比100.3%の増益となりました。

#### ②セグメントの業績の状況

##### [国内教育事業]

国内教育事業の売上高は、1,496億5千6百万円と、前年同期比7.6%の増収となりました。

増収の主な要因は、「進研ゼミ」で価格改定等による増収があったこと、及び2019年1月8日付で連結子会社としたClassi(株)、(株)EDUCOMの売上高を当期は第1四半期連結会計期間の期首から計上したことです。

営業利益は、増収による増益等により、148億8千1百万円と、前年同期比68.2%の増益となりました。

##### [グローバルこどもちゃれんじ事業]

グローバルこどもちゃれんじ事業の売上高は、423億6千6百万円と、前年同期比0.4%の増収となりました。

増収の主な要因は、台湾で延べ在籍数減少等による減収、及び中国で為替換算時のマイナス影響があったものの、中国及び国内の「こどもちゃれんじ」で価格改定等による増収があったことです。

営業利益は、中国及び国内の販売コスト増等により、37億1百万円と、前年同期比5.1%の減益となりました。

##### [介護・保育事業]

介護・保育事業の売上高は、918億7千5百万円と、前年同期比5.7%の増収となりました。

増収の主な要因は、高齢者向けホーム及び住宅数を前年同期比8ホーム拡大し、入居者数が順調に増加したことです。

営業利益は、増収による増益等により、87億6千8百万円と、前年同期比2.7%の増益となりました。

[ベルリッツ事業]

ベルリッツ事業の売上高は、360億1千2百万円と、前年同期比6.6%の減収となりました。

減収の主な要因は、為替換算時のマイナス影響に加え、北欧での事業のフランチャイズ化とフランスでの事業整理等による語学教育事業の減収、及びオーストラリアでの事業売却等によるELS事業（留学支援事業）の減収があったことです。

利益面は、減収による減益があったものの、コスト削減により損失が縮小し、21億9千5百万円の営業損失（前年同期は30億9千8百万円の営業損失）となりました。

[その他]

その他の売上高は、319億8千6百万円と、前年同期比3.7%の減収となりました。

減収の主な要因は、通信販売事業の販売を抑制したことです。

営業利益は、減収による減益があったものの、通信販売事業及び出版事業のコスト削減等により、8億4千1百万円と、前年同期比730.0%の増益となりました。

- (注) 1. 上記「②セグメントの業績の状況」に記載している売上高は、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含んだ金額を記載しております。
2. 消費税及び地方消費税（以下「消費税等」という。）に係る会計処理は、税抜方式によっているため、「経営成績に関する説明」に記載した金額には消費税等は含まれておりません。

(販売実績)

セグメントの名称	販売高(百万円)		前年同期比 (%)	前連結会計年度 (4月～3月累計) (百万円)
	前第3四半期 連結累計期間 (4月～12月累計)	当第3四半期 連結累計期間 (4月～12月累計)		
国内教育事業				
高校講座事業	9,883	9,341	94.5	12,516
中学講座事業	19,321	20,428	105.7	24,760
小学講座事業	37,986	42,267	111.3	50,365
学校向け教育事業(注2)	36,044	41,106	114.0	55,014
その他(注2)	35,795	36,437	101.8	49,406
小計	139,030	149,581	107.6	192,064
グローバルこどもちゃれんじ事業				
国内こどもちゃれんじ講座事業	13,282	13,838	104.2	17,923
海外こどもちゃれんじ講座事業	20,378	20,207	99.2	27,252
その他	8,532	8,294	97.2	11,267
小計	42,193	42,340	100.3	56,443
介護・保育事業	86,904	91,840	105.7	116,999
ベルリッツ事業	37,458	34,712	92.7	49,275
その他	18,419	18,086	98.2	24,647
合計	324,007	336,562	103.9	439,431

(注) 1. 「セグメント間の内部売上高又は振替高」は含んでおりません。

2. 当第3四半期連結累計期間において、「国内教育事業」セグメントの「学校向け教育事業」と「その他」の集計方法を変更しております。この変更に伴い前連結会計年度についても修正を行っております。なお、前第3四半期連結累計期間については影響はありません。

(国内教育事業における進研ゼミ事業の概要)

進研ゼミは、小学生から高校生を対象とした通信教育講座であり、通信添削を中心として毎月継続的に行う家庭学習システムであります。各講座の延べ在籍数は次のとおりであります。

講座	延べ在籍数(千人)		前年同期比 (%)	前連結会計年度 (4月～3月累計) (千人)
	前第3四半期 連結累計期間 (4月～12月累計)	当第3四半期 連結累計期間 (4月～12月累計)		
高校講座	1,172	1,086	92.7	1,483
中学講座	3,351	3,229	96.4	4,293
小学講座	10,113	10,350	102.3	13,361
合計	14,637	14,665	100.2	19,138

(グローバルこどもちゃれんじ事業の概要)

こどもちゃれんじは、日本、中国、台湾、インドネシアにおける、主に幼児を対象とした通信教育講座であります。各講座の延べ在籍数は次のとおりであります。

講座	延べ在籍数 (千人)		前年同期比 (%)	前連結会計年度 (4月～3月累計) (千人)
	前第3四半期連結累計期間 (4月～12月累計)	当第3四半期連結累計期間 (4月～12月累計)		
国内こどもちゃれんじ講座	7,062	7,019	99.4	9,523
海外こどもちゃれんじ講座 (注1、2)	11,192	11,131	99.5	14,867
合計	18,254	18,150	99.4	24,390

(注) 1. 中国、台湾、インドネシアにおける延べ在籍数の合計であります。

2. 中国において通信教育事業等を行っている倍楽生商貿(中国)有限公司等2社、及びインドネシアにおいて通信教育事業等を行っているPT. Benesse Indonesiaの決算日は12月末日のため、上記の第3四半期連結累計期間の延べ在籍数は、1月から9月における延べ在籍数となっております。

(介護・保育事業における高齢者向けホーム及び住宅数)

シリーズ	高齢者向けホーム及び住宅数 (カ所)		増減数 (カ所)	前連結会計年度 (3月末日) (カ所)
	前第3四半期連結会計期間 (12月末日)	当第3四半期連結会計期間 (12月末日)		
アリア	24	24	—	24
くらら	40	40	—	40
グラニー&グランダ	137	143	6	140
まどか	57	57	—	57
ボンセジュール	45	47	2	45
こことち	14	14	—	14
リレ	2	2	—	2
合計	319	327	8	322

(ベルリッツ事業における語学レッスン数)

地域	語学レッスン数 (千レッスン)		前年同期比 (%)	前連結会計年度 (1月～12月累計) (千レッスン)
	前第3四半期連結累計期間 (1月～9月累計)	当第3四半期連結累計期間 (1月～9月累計)		
アメリカズ (米州)	1,008	846	83.9	1,309
ヨーロッパ	2,155	1,981	91.9	2,913
アジア	1,223	1,216	99.4	1,614
合計	4,388	4,044	92.2	5,837

(注) 1. 語学レッスン数は、直営センターにおける数値を示しております。

2. (参考情報)

ベルリッツ事業において語学教育事業等を行っているBerlitz (ベルリッツ) Corporationの決算日は12月末日のため、上記の第3四半期連結累計期間の語学レッスン数は、1月から9月における語学レッスン数となっております。そのため、参考情報として1月から12月におけるBerlitz Corporationの語学レッスン数を次のとおり開示いたします。(2019年1月から12月の語学レッスン数は速報値であるため、変動する可能性があります。)

地域	語学レッスン数 (千レッスン)		前年同期比 (%)
	2018年1月～12月累計	2019年1月～12月累計 (速報値)	
アメリカズ (米州)	1,309	1,123	85.8
ヨーロッパ	2,913	2,594	89.1
アジア	1,614	1,599	99.1
合計	5,837	5,317	91.1

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産は、4,933億7千万円と、前連結会計年度に比べ2.2%、113億1千2百万円減少しました。

流動資産は、2,522億7千4百万円と、前連結会計年度に比べ4.6%、120億3千5百万円減少しました。この減少は、主に未収入金の減少によるものです。

有形固定資産は、1,513億2千2百万円と、前連結会計年度に比べ2.7%、39億6千9百万円増加しました。この増加は、主にリース資産の増加によるものです。

無形固定資産は、370億8百万円と、前連結会計年度に比べ5.5%、21億5千7百万円減少しました。この減少は、主にのれんの減少によるものです。

投資その他の資産は、527億6千4百万円と、前連結会計年度に比べ2.0%、10億8千8百万円減少しました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間の総負債は、3,104億1千7百万円と、前連結会計年度に比べ5.8%、191億6千5百万円減少しました。

流動負債は、1,530億5千5百万円と、前連結会計年度に比べ12.2%、211億8千万円減少しました。この減少は、1年内返済予定の長期借入金の増加があったものの、前受金、未払金、支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。

固定負債は、1,573億6千2百万円と、前連結会計年度に比べ1.3%、20億1千4百万円増加しました。この増加は、長期借入金の減少があったものの、リース債務が増加したこと等によるものです。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産は、1,829億5千2百万円と、前連結会計年度に比べ4.5%、78億5千2百万円増加しました。この増加は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	109,681	159,175
受取手形及び売掛金	33,247	32,760
有価証券	34,466	2,949
商品及び製品	26,228	18,684
仕掛品	2,889	5,019
原材料及び貯蔵品	1,830	2,002
その他	57,720	32,856
貸倒引当金	△1,755	△1,174
流動資産合計	264,310	252,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,019	28,743
土地	35,145	35,142
リース資産（純額）	74,124	78,215
その他（純額）	9,063	9,219
有形固定資産合計	147,352	151,322
無形固定資産		
のれん	12,703	11,063
その他	26,462	25,945
無形固定資産合計	39,166	37,008
投資その他の資産		
投資有価証券	13,072	12,644
その他	40,871	40,154
貸倒引当金	△91	△34
投資その他の資産合計	53,853	52,764
固定資産合計	240,372	241,095
資産合計	504,682	493,370

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,748	13,504
1年内返済予定の長期借入金	19,186	23,969
未払法人税等	3,075	2,213
前受金	91,294	72,821
添削料引当金	305	369
賞与引当金	6,582	4,053
返品調整引当金	394	369
その他	37,647	35,754
流動負債合計	174,235	153,055
固定負債		
長期借入金	19,099	14,183
リース債務	79,967	84,980
役員退職慰労引当金	67	75
退職給付に係る負債	7,765	7,826
その他	48,447	50,297
固定負債合計	155,347	157,362
負債合計	329,583	310,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,661	13,700
資本剰余金	29,554	29,593
利益剰余金	152,164	160,461
自己株式	△21,360	△21,361
株主資本合計	174,021	182,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,372	1,195
為替換算調整勘定	△5,749	△6,333
退職給付に係る調整累計額	△266	△175
その他の包括利益累計額合計	△4,643	△5,313
新株予約権	105	105
非支配株主持分	5,616	5,766
純資産合計	175,099	182,952
負債純資産合計	504,682	493,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	324,007	336,562
売上原価	185,210	188,543
売上総利益	138,796	148,018
返品調整引当金戻入額	399	394
返品調整引当金繰入額	399	369
差引売上総利益	138,796	148,043
販売費及び一般管理費		
ダイレクトメール費	12,146	11,959
広告宣伝費	8,763	8,609
給料及び手当	27,582	27,953
賞与引当金繰入額	1,737	1,834
退職給付費用	1,145	1,085
役員退職慰労引当金繰入額	9	8
貸倒引当金繰入額	318	88
その他	71,565	73,409
販売費及び一般管理費合計	123,269	124,949
営業利益	15,527	23,093
営業外収益		
受取利息	349	384
固定資産賃貸料	261	254
投資事業組合運用益	261	176
補助金収入	280	175
その他	731	734
営業外収益合計	1,883	1,725
営業外費用		
支払利息	3,502	4,046
固定資産賃貸費用	126	103
為替差損	730	—
その他	407	642
営業外費用合計	4,767	4,792
経常利益	12,643	20,026
特別利益		
国庫補助金	—	42
特別利益合計	—	42
特別損失		
減損損失	219	—
固定資産圧縮損	—	34
災害損失	199	—
在外連結子会社リストラクチャリング費用	—	※1 424
特別損失合計	419	459
税金等調整前四半期純利益	12,224	19,608
法人税等	5,266	5,753
四半期純利益	6,958	13,855
非支配株主に帰属する四半期純利益	376	673
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,582	13,181

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,958	13,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△525	△165
為替換算調整勘定	200	△585
退職給付に係る調整額	96	92
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△3
その他の包括利益合計	△231	△662
四半期包括利益	6,726	13,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,358	12,512
非支配株主に係る四半期包括利益	367	680

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,224	19,608
減価償却費	14,731	14,963
減損損失	219	—
引当金の増減額 (△は減少)	△3,453	△3,496
その他の損益 (△は益)	3,237	3,979
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,945	138
たな卸資産の増減額 (△は増加)	298	5,173
未収入金の増減額 (△は増加)	18,468	21,966
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,531	△2,133
未払金の増減額 (△は減少)	△5,373	△2,677
前受金の増減額 (△は減少)	△12,944	△17,745
その他の資産・負債の増減額	845	5,365
小計	22,775	45,142
利息及び配当金の受取額	563	588
利息の支払額	△3,502	△4,045
法人税等の支払額	△11,278	△6,286
法人税等の還付額	1,402	2,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,960	38,083
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△40,908	△1,007
有価証券の売却による収入	31,629	20,412
有形固定資産の取得による支出	△4,625	△4,177
ソフトウェアの取得による支出	△4,270	△6,321
投資有価証券の取得による支出	△545	△491
投資有価証券の売却による収入	523	547
定期預金の純増減額 (△は増加)	29	△476
その他	△1,668	△1,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,836	6,952
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	5,000
長期借入金の返済による支出	—	△5,133
配当金の支払額	△6,977	△4,810
リース債務の返済による支出	△1,719	△2,300
その他	△478	△571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,175	△7,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	△305	△510
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,357	36,709
現金及び現金同等物の期首残高	138,304	112,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	118,947	149,367

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」の「リース資産(純額)」が1,151百万円増加し、「流動負債」の「その他」が533百万円及び「固定負債」の「リース債務」が692百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は68百万円減少しております。

なお、本会計基準の適用により新たに計上されることとなった使用権資産は、リース資産に含めて表示しております。

(連結損益計算書関係)

※1 在外連結子会社リストラクチャリング費用

在外連結子会社Berlitz Corporationにおける事業構造の改善のためのリストラクチャリングに伴う損失であります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	国内教育 事業	グローバル こどもちゃ れんじ事業	介護・保育 事業	ベルリッツ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	139,030	42,193	86,904	37,458	305,587	18,419	324,007	—	324,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	105	14	41	1,082	1,244	14,786	16,030	△16,030	—
計	139,136	42,208	86,946	38,540	306,831	33,205	340,037	△16,030	324,007
セグメント利益 又は損失(△)	8,846	3,901	8,535	△3,098	18,185	101	18,286	△2,759	15,527

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、雑誌の出版、通訳・翻訳事業、及び情報システムの保守・運用事業、並びに情報処理サービス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,759百万円には、セグメント間取引消去113百万円、各報告セグメントには配分していない全社費用△2,873百万円が含まれております。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	国内教育 事業	グローバル こどもちゃ れんじ事業	介護・保育 事業	ベルリッツ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	149,581	42,340	91,840	34,712	318,475	18,086	336,562	—	336,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	26	34	1,300	1,435	13,899	15,335	△15,335	—
計	149,656	42,366	91,875	36,012	319,910	31,986	351,897	△15,335	336,562
セグメント利益 又は損失(△)	14,881	3,701	8,768	△2,195	25,156	841	25,997	△2,904	23,093

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、雑誌の出版、通訳・翻訳事業、及び情報システムの保守・運用事業、並びに情報処理サービス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,904百万円には、セグメント間取引消去164百万円、各報告セグメントには配分していない全社費用△3,068百万円が含まれております。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

多額な資金の借入

当社は、㈱三井住友銀行と金銭消費貸借契約を次のとおり締結し、借入を実行いたしました。

(1) 資金使途	長期運転資金
(2) 契約日	2020年1月27日
(3) 借入先	㈱三井住友銀行
(4) 借入金額	10,000百万円
(5) 借入実行日	2020年1月29日
(6) 金利	固定金利 0.18%
(7) 返済方法	2027年1月29日に一括返済
(8) 担保提供資産の有無	無